

横浜市記者発表資料

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
YOKOHAMA

令和7年12月22日
教育委員会事務局学校経営支援課

GPSで子どもの走りを見える化！運動意識の向上へ ～令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた分析について～

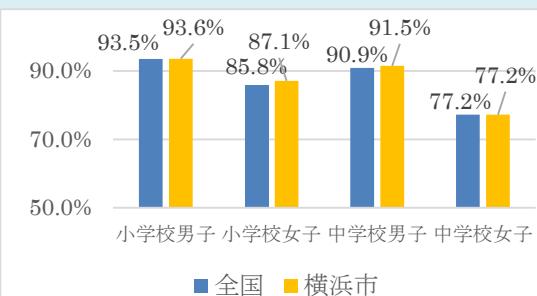
横浜市では、児童生徒一人ひとりが生涯にわたって運動・スポーツに親しめる環境づくりを目指し、運動・スポーツに対する意識向上を図る研究に取り組んでいます。具体的には、GPSデバイス等のテクノロジーを活用し、今まで記録できなかった動きを可視化することで、児童生徒が自己の成長を実感できるようにします。こうした取り組みにより、運動・スポーツへの苦手意識を軽減できると考えています。

このたび、令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえ、横浜市の児童生徒の運動・スポーツに関する現状を次のように分析しました。

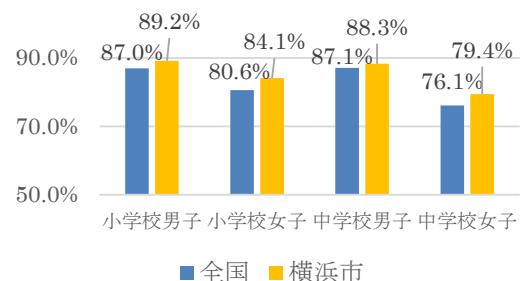
(1) 横浜市の児童生徒の運動・スポーツに対する意識の状況

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果からは、全国に比べ運動・スポーツに対する意識が高い傾向が見られます＜グラフ1＞＜グラフ2＞。一方で運動をすることが好きではない児童生徒が一定数いることが分かります。また＜グラフ3＞からは日常的に運動をしない児童生徒の運動をしない主な理由が「運動が好きではない」であり、中学生になり増えていることが分かります。

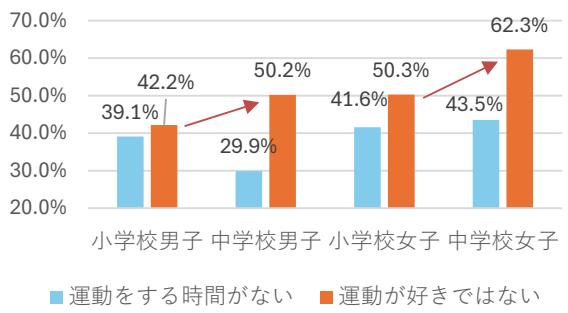
＜グラフ1＞運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きと回答した児童生徒の割合
※好き、やや好きと回答した児童生徒の割合の合算



＜グラフ2＞小学校 中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたい中学校 中学校卒業後に自主的に運動したいと回答した児童生徒の割合
※思う、やや思うと回答した児童生徒の割合の合算



＜グラフ3＞1週間の体育、保健体育以外での運動時間が0分と回答した児童生徒の「運動をしていない理由」（複数回答）



【裏面あり】



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



(2) GPS デバイスを活用した運動・スポーツに対する意識向上の研究

※GPS や日本版 GPS である準天頂衛星からの信号を受信するデバイスのこと

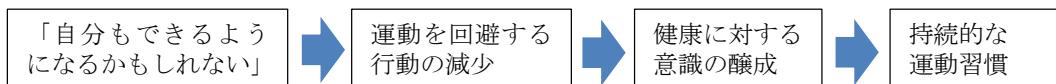
これらの意識の状況を踏まえ、横浜市では、持続的な運動習慣の形成に向けた研究を慶應義塾大学大学院と連携して行います。GPS デバイス等※により計測したデータを可視化し、タブレット端末で撮影した映像データなども活用することによって、児童生徒一人ひとりが自分自身を客観視することができます。そのような自己の成長を実感できる取組を通じて、すべての児童生徒の運動・スポーツの意識向上を目指します。

○研究パートナー 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 神武直彦 教授 こうたけ なおひこ

○研究協力校 横浜市立旭小学校（6年生）、横浜市立寺尾中学校（2年生）

※慶應義塾大学大学院と横浜市立旭小学校は、令和5、6年度に先行研究を実施

○研究の仮説



○研究の全体像



○今後の予定

旭小学校	寺尾中学校
1月中旬 データフィードバック 事後アンケート	3月上旬 第2回データ計測 3月中旬 データフィードバック 事後アンケート

※取材を希望する際、今後の日程詳細については学校経営支援課にお問い合わせください。

【次頁あり】



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 横浜市の結果概要

【調査の概要】

子どもの体力向上に係る施策の成果と課題の検証、改善と学校における体育、健康に関する指導の改善に役立てることを目的に実施

- 1 実施対象：横浜市立小学校第5学年・特別支援学校小学部第5学年・義務教育学校前期課程第5学年の児童及び中学校第2学年・特別支援学校中学部第2学年・義務教育学校後期課程第2学年の生徒
- 2 調査内容：実技調査
オンラインによる運動習慣、生活習慣等調査
- 3 標本数：児童数 約2万5千人（男子 約1万3千人、女子 約1万2千人）
生徒数 約2万人（男子 約1万人、女子 約1万人）

1 児童生徒の体力の概況

(ア) 種目ごとの概況

＜表1＞実技調査の横浜市と全国の平均値の比較

令和7年度			握力 (kg)	上体起こし (回) ※1	長座体前屈 (cm) ※2	反復横跳び (点)	持久走 (秒) ※3	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m) ※4
小学校	男子	全国	15.97	19.45	33.88	40.90		47.95	9.46	150.96	21.06
	横浜市	15.93	19.19	33.62	37.76		46.93	9.45	150.11	20.40	
中学校	女子	全国	15.61	18.36	38.17	38.71		36.87	9.77	142.39	13.10
	横浜市	15.20	17.93	38.11	35.15		33.36	9.82	139.13	11.76	
中学校	男子	全国	28.91	25.99	44.98	51.63	410.24	78.59	8.00	197.50	20.66
	横浜市	27.91	25.31	42.56	50.00	408.87	77.11	8.02	193.34	20.60	
中学校	女子	全国	23.12	21.62	46.97	45.77	310.35	50.44	8.97	166.39	12.36
	横浜市	22.42	20.95	44.69	43.94	322.25	47.53	9.03	161.15	11.87	

※1 上体起こし：30秒間の仰臥姿勢からの上体起こしの回数を測定

※2 長座体前屈：長座姿勢からの前屈による柔軟性の測定

横浜市の結果が昨年度を上回った項目

※3 中学校は持久走または20mシャトルランを選択、持久走は男子1500m、女子1000m走

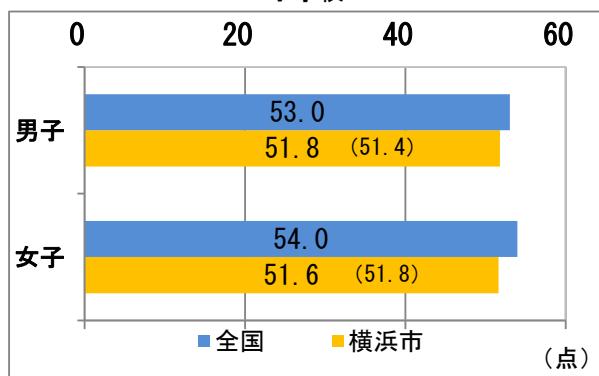
※4 小学校：ソフトボール、中学校：ハンドボール

(イ) 体力合計点

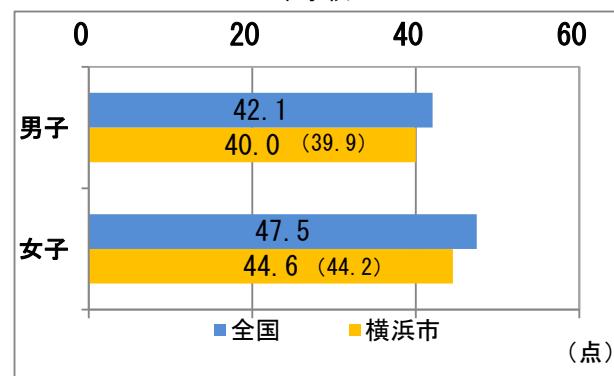
※体力合計点とは、各種目の測定値を種目別得点表(学校種、男女で異なる)に当てはめ、10段階で得点化し、合計した数値

＜グラフ1＞体力合計点の全国との比較 ()は昨年度の数値

《小学校》



《中学校》



【裏面あり】



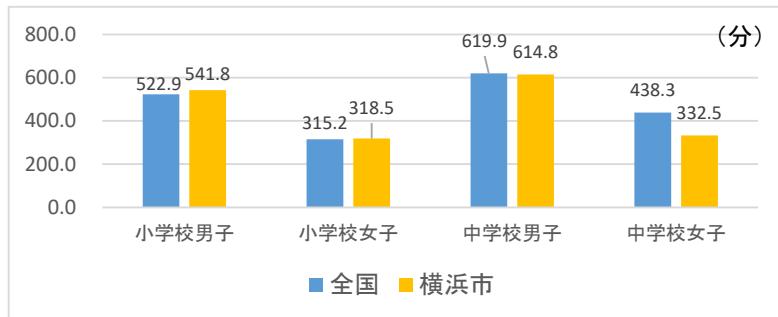
GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



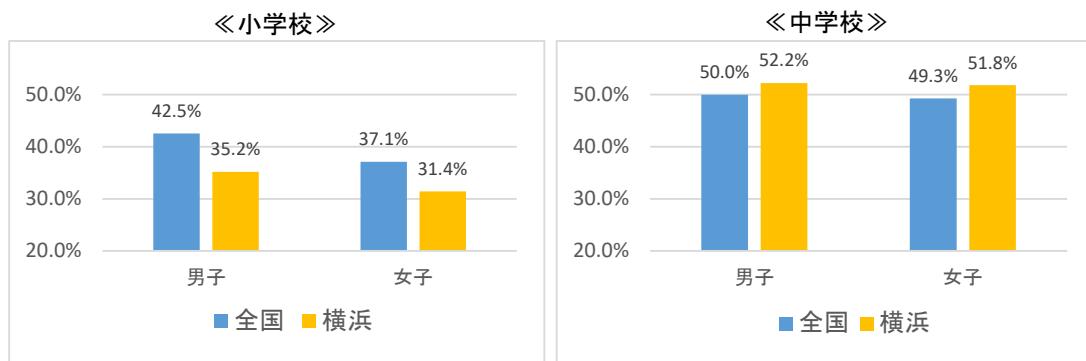
2 児童生徒の運動の実施状況

<グラフ2>運動やスポーツをする一週間の平均時間の全国との比較

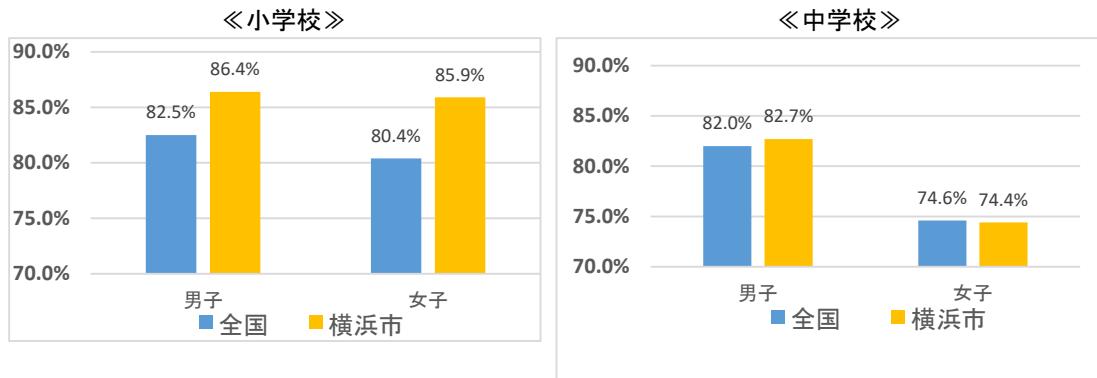


3 児童生徒の生活の状況

<グラフ3>平日に学習以外で、DVD、ゲーム機、携帯電話、パソコンなどを3時間以上視聴している割合



<グラフ4>朝食を毎日食べる割合



お問合せ先

教育委員会事務局学校経営支援課 加藤 智敏 Tel 045-671-3723



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

